

せかい えがお ひろ



# 世界に笑顔を広げよう



いま せかい たいせん せんめいくる おお なみみん

今、この世界は、内戦や戦争で苦しむ大勢の難民のみなさんであふれてい

ます。安全な場所を求めて、自分たちのふるさとを捨てなければならない人

たちが何千万人もいるのです。私たちはその難民の子どもたちに洋服を届け

る活動に取り組んでいます。奥田小学校の皆さん、私たちに力をかしてください

さい。小さくなつてもう着られない服はありませんか。皆さんの弟や妹の服

で、もういらなくなつたものはありませんか。ぜひ、せんたくをして、学校に持ってきてください。何着でもけっこ

うです。あなたの1着は難民の子どもたちを笑顔にする力を持っています。

学校での回収の期間は 10月26日(月)から10月29日(木)・

回収場所は皆さんの靴箱のあるところです。回収箱に入れてください。

どうぞよろしくお願ひします。

日本福祉大学付属高等学校 2年生「世界の子どもに笑顔を届ける会」一同



奥田小学校保護者の皆様へ

日本福祉大学付属高等学校

## 「服のチカラプロジェクト」にご協力ください！

こんにちは。私たちは日本福祉大学付属高校福祉社会コース2年生の高校生です。現在「福祉社会入門」の授業において、探求型の学びに取り組んでいます。私たちの講座のテーマは「子どもの貧困を考える」—日本における、また海外における子どもをめぐる「貧困」をテーマに、現在、学習を進めています。この学習において、受け身ではなく、私たちが主体的に問題の解決に向けて動くことが大事だと考えています。夏休みには講座の25名の仲間とボランティア活動に取り組むとともに、ユニクロがUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）と連携して取り組んでいる「服のチカラプロジェクト」の活動に取り組むことにしました。この9月にはシリアから欧州に移動する難民のニュースが連日報道されました。トルコの海岸に流れ着いた幼い子どものニュースは私たちの心に大きな衝撃を与えました。難民の半分は子どもたち。いろいろと支援がある中で、圧倒的に不足しているのが子ども服です。私たちは今、乳児から160センチのサイズまでの子ども服を集めています。ご家庭で不用となりました洋服がありましたら、洗濯をしてお寄せください。回収は10月26日から10月29日までです。回収場所は奥田小学校昇降口に回収箱を設置いたします。奥田小学校の皆さんにも協力を呼びかけました。不用となりました子ども服をお子さんに持たせて貰えればありがとうございます。

「子どもたちに笑顔を」一精一杯の取り組みを私たちも展開していきます。  
これからもよろしくお願いします。

日本福祉大学付属高校福祉社会コース2年生有志一同

問い合わせ先 〒470-3233 美浜町奥田中之谷2-1

日本福祉大学付属高等学校 担当教員 山口 喜久枝（電話 0569-87-2311）

